

18. 和歌山市の取組みに対しての満足度・重要度について

問 74 和歌山市の市政一般の満足度と重要度

和歌山市に住んでいて、つぎのことがらについてどのように感じていますか？

満足度と重要度から、それぞれ1つずつ選んで数字を○で囲んでください。

満足度： 1. 非常に満足 2. 満足 3. どちらとも言えない 4. 不満 5. 非常に不満

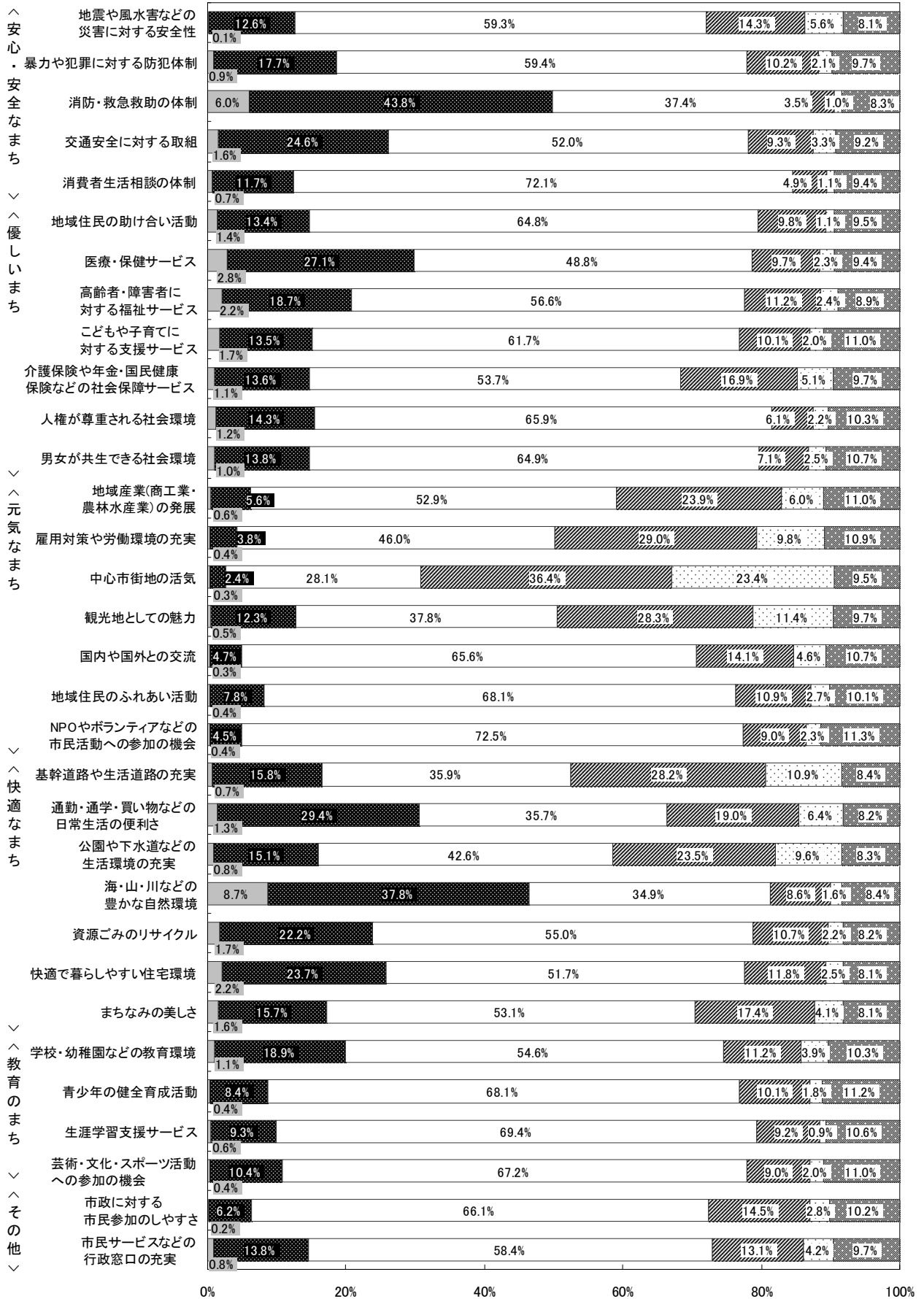
重要度： 1. 非常に重要 2. 重要 3. どちらとも言えない 4. あまり重要ではない

5. 全く重要ではない

安心・安全なまち	地震や風水害などの災害に対する安全性
	暴力や犯罪に対する防犯体制
	消防・救急救助の体制
	交通安全に対する取組
	消費者生活相談の体制
優しいまち	地域住民の助け合い活動
	医療・保健サービス
	高齢者・障害者に対する福祉サービス
	こどもや子育てに対する支援サービス
	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス
	人権が尊重される社会環境
元気なまち	男女が共生できる社会環境
	地域産業(商工業・農林水産業)の発展
	雇用対策や労働環境の充実
	中心市街地の活気
	観光地としての魅力
	国内や国外との交流
	地域住民のふれあい活動
NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	
快適なまち	基幹道路や生活道路の充実
	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ
	公園や下水道などの生活環境の充実
	海・山・川などの豊かな自然環境
	資源ごみのリサイクル
	快適で暮らしやすい住宅環境
	まちなみの美しさ
教育のまち	学校・幼稚園などの教育環境
	青少年の健全育成活動
	生涯学習支援サービス
	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会
その他	市政に対する市民参加のしやすさ
	市民サービスなどの行政窓口の充実

満足度

■ 非常に満足 ■ 満足 □ どちらとも言えない ▨ 不満 □ 非常に不満 ■ 不明



【満足率・不満率】

満足率の高い項目は順に「消防・救急救助の体制」(49.7%)、「海・山・川などの豊かな自然環境」(46.5%)、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」(30.7%)、「医療・保健サービス」(29.9%)、「交通安全に対する取組」(26.1%)となっており、“安心・安全なまち”と“快適なまち”に係わる項目の満足率が高い傾向にある。

不満率の高い項目は順に「中心市街地の活気」(59.7%)、「観光地としての魅力」(39.8%)、「基幹道路や生活道路の充実」(39.1%)、「雇用対策や労働環境の充実」(38.8%)、「公園や下水道などの生活環境の充実」(33.1%)となっており、“元気なまち”に係わる項目の不満率が高い傾向にある。

<性別>

満足率の上位5つの項目について、性別による大きな差はみられないが、男性は「快適で暮らしやすい住宅環境」が女性より上位に位置している。

不満率の上位5つの項目について、男性は全体の項目と変わらないが、女性は「介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス」、「地域住民の助け合い活動」、「子どもや子育てに対する支援サービス」の“優しいまち”に係わる項目が高い傾向にある。

【満足率（「非常に満足」と「満足」の計の割合）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体	消防・救急救助の体制 49.7%	海・山・川などの豊かな自然環境 46.5%	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 30.7%	医療・保健サービス 29.9%	交通安全に対する取組 26.1%
男性	消防・救急救助の体制 50.4%	海・山・川などの豊かな自然環境 43.2%	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 29.5%	医療・保健サービス 27.8%	・交通安全に対する取組 ・快適で暮らしやすい住宅環境 23.3%
女性	海・山・川などの豊かな自然環境 50.1%	消防・救急救助の体制 49.3%	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 32.0%	医療・保健サービス 31.6%	交通安全に対する取組 28.6%

【不満率（「非常に不満」と「不満」の計の割合）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体	中心市街地の活気 59.7%	観光地としての魅力 39.8%	基幹道路や生活道路の充実 39.1%	雇用対策や労働環境の充実 38.8%	公園や下水道などの生活環境の充実 33.1%
男性	中心市街地の活気 62.7%	基幹道路や生活道路の充実 44.2%	観光地としての魅力 42.3%	雇用対策や労働環境の充実 40.9%	公園や下水道などの生活環境の充実 35.6%
女性	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 58.0%	地域住民の助け合い活動 38.2%	子どもや子育てに対する支援サービス 37.7%	観光地としての魅力 35.8%	地震や風水害などの災害に対する安全性 31.3%

注① 同率の項目は並記している。

注② この表の満足率は「非常に満足」と「満足」の合計の割合であり、前ページのグラフの「非常に満足」と「満足」の割合を合計した数値と一致しない。(不満率も同様)

※注①と②は以降のページも同様である。

<年齢別>

満足率の上位5つの項目について年齢別にみると、30歳代は「学校・幼稚園などの教育環境」が他の年齢層より上位に位置している。60歳代以上の年齢層では「資源ごみのリサイクル」が上位に位置している。

【満足率（「非常に満足」と「満足」の計の割合）】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳	消防・救急救助の体制 56.3%	医療・保健サービス 43.8%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ ・公園や下水道などの生活環境の充実 ・海・山・川などの豊かな自然環境		37.5%
20～29歳	海・山・川などの豊かな自然環境 50.0%	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 29.7%	快適で暮らしやすい住宅環境 28.1%	消防・救急救助の体制 26.6%	・医療・保健サービス ・基幹道路や生活道路の充実 23.4%
30～39歳	海・山・川などの豊かな自然環境 59.8%	消防・救急救助の体制 45.8%	・医療・保健サービス ・快適で暮らしやすい住宅環境		・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ ・学校・幼稚園などの教育環境 29.9%
40～49歳	海・山・川などの豊かな自然環境 52.8%	消防・救急救助の体制 45.1%	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 31.0%	快適で暮らしやすい住宅環境 23.2%	交通安全に対する取組 21.1%
50～59歳	消防・救急救助の体制 50.6%	海・山・川などの豊かな自然環境 46.8%	・交通安全に対する取組 ・医療・保健サービス		通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 26.0%
60～69歳	消防・救急救助の体制 57.6%	海・山・川などの豊かな自然環境 42.0%	医療・保健サービス 33.8%	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 32.0%	資源ごみのリサイクル 28.6%
70～79歳	消防・救急救助の体制 52.9%	海・山・川などの豊かな自然環境 44.1%	・医療・保健サービス ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ		資源ごみのリサイクル 29.9%
80歳以上	消防・救急救助の体制 44.7%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ ・快適で暮らしやすい住宅環境		海・山・川などの豊かな自然環境 ・資源ごみのリサイクル	27.7%

<地域別>

満足率の上位5つの項目について地域別にみると、南部は「資源ごみのリサイクル」、東南部は「高齢者・障害者に対する福祉サービス」が他の地域より上位に位置している。

【満足率（「非常に満足」と「満足」の計の割合）】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部	消防・救急救助の体制 48.4%	海・山・川などの豊かな自然環境 46.4%	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 37.9%	医療・保健サービス 27.8%	快適で暮らしやすい住宅環境 27.4%
南部	消防・救急救助の体制 54.5%	海・山・川などの豊かな自然環境 51.2%	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 31.4%	医療・保健サービス 30.6%	・交通安全に対する取組 ・資源ごみのリサイクル 26.4%
東部	消防・救急救助の体制 49.2%	海・山・川などの豊かな自然環境 43.5%	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 28.2%	医療・保健サービス 26.6%	快適で暮らしやすい住宅環境 24.2%
東南部	消防・救急救助の体制 46.4%	海・山・川などの豊かな自然環境 42.3%	医療・保健サービス 35.1%	高齢者・障害者に対する福祉サービス 27.8%	交通安全に対する取組 26.8%
河西部	消防・救急救助の体制 51.9%	海・山・川などの豊かな自然環境 51.2%	医療・保健サービス 33.1%	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 31.5%	交通安全に対する取組 30.4%
河北部	消防・救急救助の体制 47.1%	海・山・川などの豊かな自然環境 39.2%	快適で暮らしやすい住宅環境 31.4%	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 28.4%	医療・保健サービス 27.5%

<年齢別>

不満率の上位5つの項目について年齢別にみると、18～19歳は「国内や国外との交流」、「まちなみの美しさ」、「NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会」、「市政に対する市民参加のしやすさ」、20歳代は「芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会」、「地域住民の助け合い活動」、「子どもや子育てに対する支援サービス」、30歳代は「男女が共生できる社会環境」、「生涯学習支援サービス」、「資源ごみのリサイクル」、「市民サービスなどの行政窓口の充実」が他の年齢層より上位に位置している。

【不満率（「非常に不満」と「不満」の計の割合）】

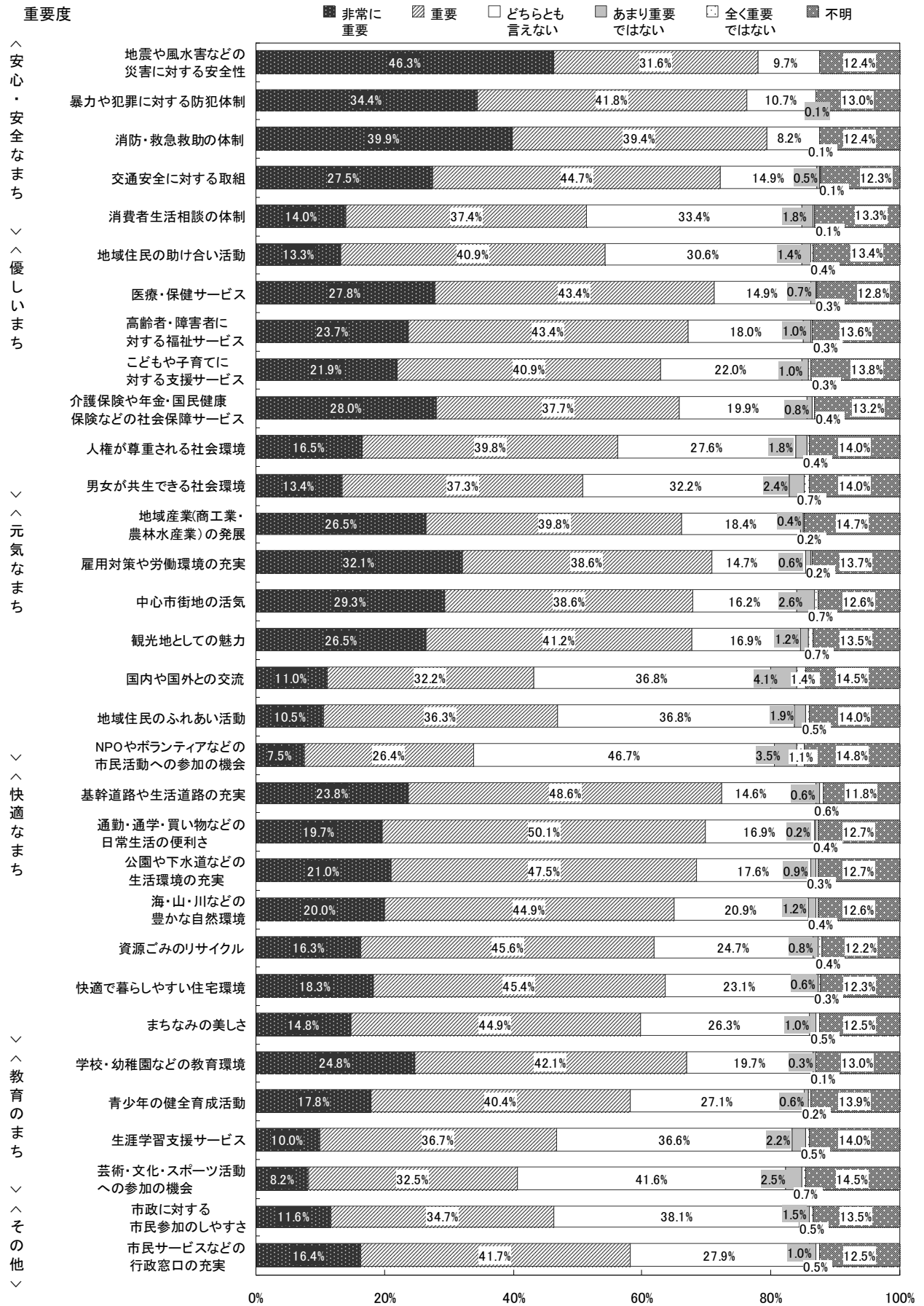
	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳	中心市街地の活気 50.0%	観光地としての魅力 43.8%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ ・基幹道路や生活道路の充実 25.0%	・海・山・川などの豊かな自然環境 ・国内や国外との交流 ・まちなみの美しさ ・NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会 ・市政に対する市民参加のしやすさ 18.8%	
20～29歳	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会 67.2%	地域産業(商工業・農林水産業)の発展 51.6%	公園や下水道などの生活環境の充実 42.2%	地域住民の助け合い活動 40.6%	子どもや子育てに対する支援サービス 35.9%
30～39歳	暴力や犯罪に対する防犯体制 60.7%	・男女が共生できる社会環境 ・生涯学習支援サービス 45.8%	資源ごみのリサイクル 43.9%	市民サービスなどの行政窓口の充実 29.9%	
40～49歳	中心市街地の活気 73.2%	基幹道路や生活道路の充実 52.8%	雇用対策や労働環境の充実 50.7%	・観光地としての魅力 ・地域産業(商工業・農林水産業)の発展 47.9%	
50～59歳	中心市街地の活気 66.2%	雇用対策や労働環境の充実 47.4%	・観光地としての魅力 ・基幹道路や生活道路の充実 43.5%	公園や下水道などの生活環境の充実 40.9%	
60～69歳	中心市街地の活気 58.0%	雇用対策や労働環境の充実 37.2%	基幹道路や生活道路の充実 35.1%	観光地としての魅力 34.6%	公園や下水道などの生活環境の充実 34.2%
70～79歳	中心市街地の活気 51.0%	観光地としての魅力 33.8%	基幹道路や生活道路の充実 30.9%	公園や下水道などの生活環境の充実 28.9%	雇用対策や労働環境の充実 27.9%
80歳以上	中心市街地の活気 36.2%	基幹道路や生活道路の充実 29.8%	雇用対策や労働環境の充実 27.7%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ ・観光地としての魅力 23.4%	

<地域別>

不満率の上位5つの項目について地域別にみると、南部は「地震や風水害などの災害に対する安全性」、東南部は「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」が他の地域より上位に位置している。

【不満率（「非常に不満」と「不満」の計の割合）】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部	中心市街地の活気 64.9%	観光地としての魅力 41.9%	雇用対策や労働環境の充実 40.3%	基幹道路や生活道路の充実 35.9%	地域産業(商工業・農林水産業)の発展 33.1%
南部	中心市街地の活気 63.6%	基幹道路や生活道路の充実 44.6%	観光地としての魅力 36.4%	雇用対策や労働環境の充実 35.5%	地震や風水害などの災害に対する安全性 31.4%
東部	中心市街地の活気 55.6%	基幹道路や生活道路の充実 40.3%	観光地としての魅力 37.1%	・公園や下水道などの生活環境の充実 ・雇用対策や労働環境の充実 33.9%	
東南部	中心市街地の活気 53.6%	雇用対策や労働環境の充実 41.2%	・基幹道路や生活道路の充実 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ ・観光地としての魅力 ・公園や下水道などの生活環境の充実 40.2%		
河西部	中心市街地の活気 61.5%	雇用対策や労働環境の充実 43.5%	観光地としての魅力 42.7%	基幹道路や生活道路の充実 39.2%	地域産業(商工業・農林水産業)の発展 35.0%
河北部	中心市街地の活気 54.9%	・基幹道路や生活道路の充実 ・公園や下水道などの生活環境の充実 40.2%		観光地としての魅力 37.3%	雇用対策や労働環境の充実 36.3%



【重要率】

重要率の高い項目は順に「消防・救急救助の体制」(79.3%)、「地震や風水害などの災害に対する安全性」(78.0%)、「暴力や犯罪に対する防犯体制」(76.0%)、「基幹道路や生活道路の充実」(72.4%)、「交通安全に対する取組」(72.2%)となっており、“安心・安全なまち”に係わる項目の重要率が高い傾向にある。

<性別>

重要率の上位5つの項目について、男性は全体の項目と変わらないが、女性は「医療・保健サービス」が男性より上位に位置している。

【重要率（「非常に重要」と「重要」の計の割合）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体	消防・救急救助の体制 79.3%	地震や風水害などの災害に対する安全性 78.0%	暴力や犯罪に対する防犯体制 76.0%	基幹道路や生活道路の充実 72.4%	交通安全に対する取組 72.2%
男性	消防・救急救助の体制 80.8%	地震や風水害などの災害に対する安全性 79.6%	暴力や犯罪に対する防犯体制 78.6%	基幹道路や生活道路の充実 76.5%	雇用対策や労働環境の充実 72.7%
女性	消防・救急救助の体制 78.9%	地震や風水害などの災害に対する安全性 77.4%	暴力や犯罪に対する防犯体制 75.0%	交通安全に対する取組 ・医療・保健サービス 74.4%	

注① 同率の項目は並記している。

注② この表の重要率は「非常に重要」と「重要」の合計の割合であり、前ページのグラフの「非常に重要」と「重要」の割合を合計した数値と一致しない。

※注①と②は以降のページも同様である。

<年齢別>

重要率の上位5つの項目について年齢別にみると、18～19歳は「資源ごみのリサイクル」、
「まちなみの美しさ」、80歳以上は「高齢者・障害者に対する福祉サービス」、「介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス」が他の年齢層より上位に位置している。

【重要率（「非常に重要」と「重要」の計の割合）】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 観光地としての魅力 暴力や犯罪に対する防犯体制 消防・救急救助の体制 				<ul style="list-style-type: none"> 雇用対策や労働環境の充実 中心市街地の活気 通勤・通学・買い物などの日常生活の利便さ 資源ごみのリサイクル まちなみの美しさ 学校・幼稚園などの教育環境 医療・保健サービス
				75.0%	68.8%
20～29歳	地震や風水害などの災害に対する安全性 85.9%	雇用対策や労働環境の充実 消防・救急救助の体制		暴力や犯罪に対する防犯体制 81.3%	医療・保健サービス 79.7%
30～39歳	地震や風水害などの災害に対する安全性 86.0%	暴力や犯罪に対する防犯体制 85.0%	消防・救急救助の体制 83.2%	基幹道路や生活道路の充実 81.3%	通勤・通学・買い物などの日常生活の利便さ 学校・幼稚園などの教育環境 79.4%
40～49歳	地震や風水害などの災害に対する安全性 85.9%	消防・救急救助の体制 85.2%	暴力や犯罪に対する防犯体制 84.5%	雇用対策や労働環境の充実 82.4%	交通安全に対する取組 医療・保健サービス 78.2%
50～59歳	消防・救急救助の体制 86.4%	地震や風水害などの災害に対する安全性 85.1%	暴力や犯罪に対する防犯体制 83.8%	雇用対策や労働環境の充実 交通安全に対する取組 77.9%	
60～69歳	消防・救急救助の体制 81.4%	地震や風水害などの災害に対する安全性 77.5%	暴力や犯罪に対する防犯体制 74.9%	交通安全に対する取組 74.5%	基幹道路や生活道路の充実 医療・保健サービス 74.0%
70～79歳	消防・救急救助の体制 72.1%	地震や風水害などの災害に対する安全性 69.1%	基幹道路や生活道路の充実 68.6%	暴力や犯罪に対する防犯体制 66.2%	公園や下水道などの生活環境の充実 65.7%
80歳以上	基幹道路や生活道路の充実 快適で暮らしやすい住宅環境 55.3%		通勤・通学・買い物などの日常生活の利便さ 53.2%	高齢者・障害者に対する福祉サービス 48.9%	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 公園や下水道などの生活環境の充実 46.8%

<地域別>

重要率の上位5つの項目について地域別にみると、中心部は「中心市街地の活気」、南部は「公園や下水道などの生活環境の充実」、「海・山・川などの豊かな自然環境」、東部は「観光地としての魅力」、河西部は「医療・保健サービス」が他の地域より上位に位置している。

【重要率（「非常に重要」と「重要」の計の割合）】

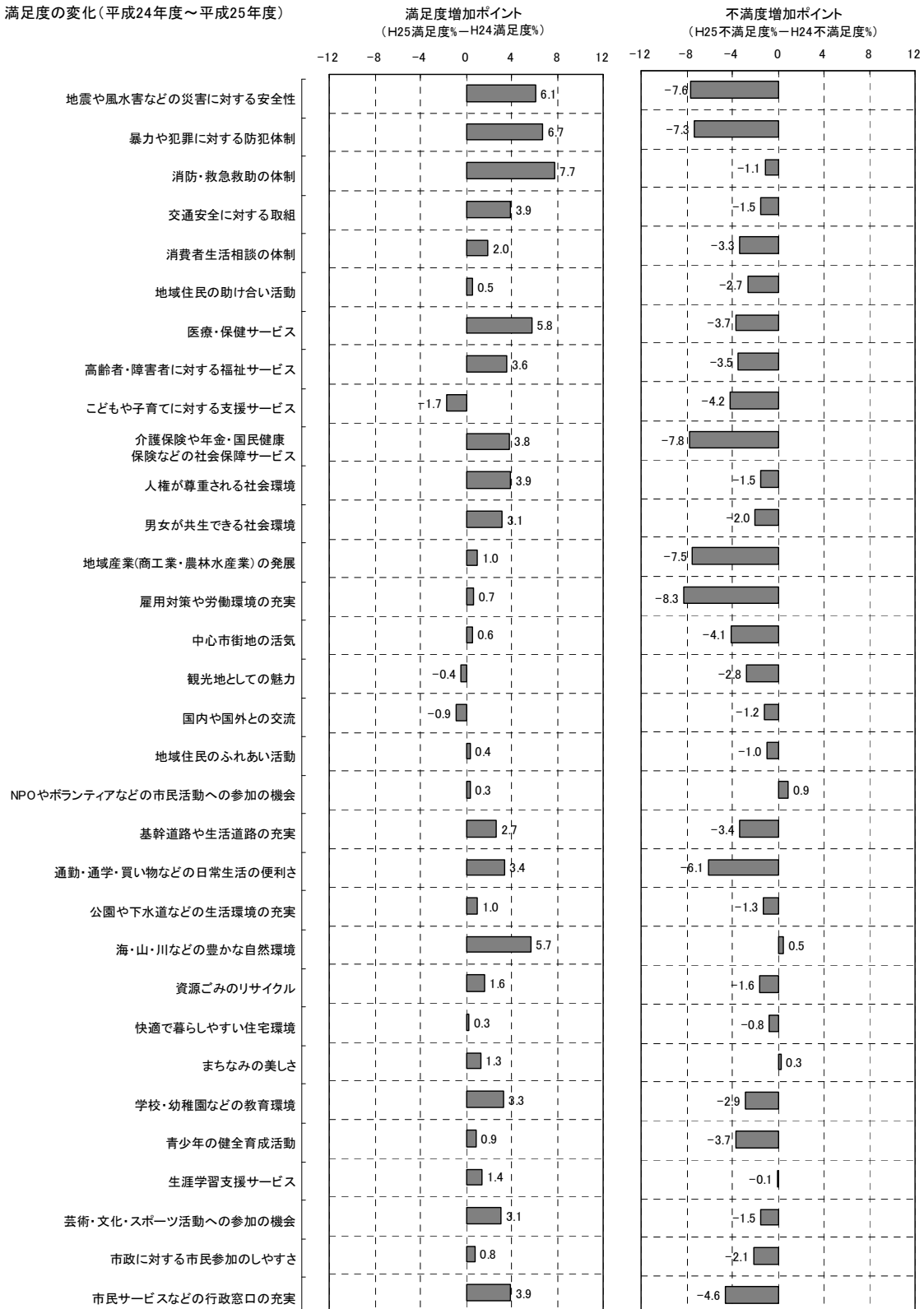
	1位	2位	3位	4位	5位
中心部	消防・救急救助の体制 81.0%	暴力や犯罪に対する防犯体制 80.6%	地震や風水害などの災害に対する安全性 77.8%	交通安全に対する取組 75.8%	中心市街地の活気 75.0%
南部	消防・救急救助の体制 81.8%	地震や風水害などの災害に対する安全性 81.0%	基幹道路や生活道路の充実 75.2%	交通安全に対する取組 74.4%	・公園や下水道などの生活環境の充実 ・海・山・川などの豊かな自然環境 72.7%
東部	消防・救急救助の体制 76.6%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 ・暴力や犯罪に対する防犯体制 75.8%	基幹道路や生活道路の充実 75.0%	・雇用対策や労働環境の充実 ・観光地としての魅力 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 72.6%	
東南部	地震や風水害などの災害に対する安全性 79.4%	・暴力や犯罪に対する防犯体制 ・基幹道路や生活道路の充実 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 72.2%		・消防・救急救助の体制	
河西部	消防・救急救助の体制 83.1%	地震や風水害などの災害に対する安全性 78.8%	暴力や犯罪に対する防犯体制 78.5%	基幹道路や生活道路の充実 75.0%	医療・保健サービス 73.8%
河北部	消防・救急救助の体制 77.5%	地震や風水害などの災害に対する安全性 76.5%	暴力や犯罪に対する防犯体制 72.5%	・雇用対策や労働環境の充実 ・基幹道路や生活道路の充実 71.6%	

【満足度：前年度との比較】

平成 24 年度と平成 25 年度の満足度（「非常に満足」、「満足」の割合）の変化は、「地震や風水害などの災害に対する安全性」、「暴力や犯罪に対する防犯体制」、「消防・救急救助の体制」、「医療・保健サービス」、「海・山・川などの豊かな自然環境」が 5 ポイント以上増加している。

不満度（「非常に不満」、「不満」の割合）の変化は、「NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会」と「海・山・川などの豊かな自然環境」、「まちなみの美しさ」以外の項目で減少している。

満足度の変化(平成24年度～平成25年度)



【重要度：前年度との比較】

平成 24 年度と平成 25 年度の重要度（「非常に重要」、「重要」の割合）の変化は、「地震や風水害などの災害に対する安全性」以外の項目で増加している。

非重要度（「あまり重要ではない」、「全く重要ではない」の割合）の変化は、1 ポイント以上増加している項目はなく、全体的に減少している。

重要度の変化（平成24年度～平成25年度）

